

(3) 令和 7 年度公営企業会計予算について

公営企業会計の予算

公営企業会計は2つの予算で成り立っています

- 1 **収益的収支予算**・・・1年間の料金収入や経費（維持管理）に関する予算
収益：営業収益（水道料金や下水道使用料など）、営業外収益
費用：営業費用（施設や管等の維持管理費、減価償却費など）、
営業外費用（利息の支払など）
- 2 **資本的収支予算**・・・資産（施設、管など）を整備や更新するための予算
収入：補助金、工事負担金、借金の借入
支出：施設や管などの工事費、借金の返済など

令和7年度 水道事業予算

収益的収支

費用は前年度比 24百万円の減
収益は前年度比 44百万円の増

費用
2,770百万円

収益
2,828百万円

水を浄水する費用 565百万円	水道料金 2,444百万円
水を配水する費用 595百万円	
事務費	
減価償却費※1 1,093百万円	
	補助金等
	その他
利益 58百万円	

前年度比
14百万円増
R6. 4月料金改定
(R6. 6月徴収分～)

※1 減価償却費

固定資産の取得に要した経費を取得年度に一括計上せず、資産の価値の減少に応じてその使用期間全体に割り振って費用として計上していく方法。
会計上発生する費用であるが、実際のお金の動きはない。

資本的収支

支出は前年度比 16百万円の増
収入は前年度比 209百万円の増

支出
1,968百万円

収入
1,089百万円

建設費 1,360百万円	借金借入 800百万円
	出資金 165百万円
	工事負担金等
借金の返済 587百万円	不足額 △879百万円

一般会計からの出資
(基準内繰入金※2)
菌部浄水場紫外線照射
施設新設工事に対する
出資金
R6出資金:111百万円
R7出資金:165百万円

不足分は積立金等
の内部留保資金※3
で補てん

※2 基準内繰入金

国の定める基準により、水道料金で賄うべきではない費用に対して、一般会計から繰り入れる補助金。

※3 内部留保資金

前年度までに生じた利益の余りを積立てておいたものや、減価償却費などの実際には現金の支出がない費用計上によって生じた資金。

令和7年度 下水道事業予算 (公共下水道事業)

収益的収支

費用は前年度比 111百万円の減
収益は前年度比 11百万円の増

費用
3,709百万円

収益
3,788百万円

汚水処理費用 1,316百万円	下水道使用料 1,569百万円	前年度比 95百万円増 R6. 4月料金改定 (R6. 6月徴収分～)
その他		
減価償却費 1,774百万円	補助金(基準内繰入金※) 1,318百万円	
利益 79百万円	補助金(基準外繰入金※) 195百万円	
	その他	

* 費用減の主な要因

流域下水道維持管理費 前年度比 151百万円の減

資本的収支

支出は前年度比 537百万円の減
収入は前年度比 526百万円の減

支出
2,472百万円

収入
1,233百万円

建設費 1,096百万円	借金借入 766百万円
	国庫補助 173百万円
	補助金(基準内繰入金) 122百万円
	補助金(基準外繰入金) 97百万円
	その他
借金の返済 1,426百万円	不足額 △879百万円

※ 基準内繰入金

国の定める基準により、下水道使用料で賄うべきではない費用(支出)に対する補助金(雨水、水質保全、資本費の一部)

基準外繰入金

下水道使用料で賄うべきものであるが、料金収入が少ないので賄いきれない費用(支出)に対する補助金(赤字補てん)

令和7年度 下水道事業予算 (農業集落排水事業)

収益的収支

費用は前年度比 33百万円の増
収益は前年度比 43百万円の増

費用
461百万円

収益
461百万円

汚水処理費用 175百万円	下水道使用料 94百万円
その他	補助金(基準内繰入金) 138百万円
減価償却費 240百万円	補助金(基準外繰入金) 96百万円
	その他

前年度比
12百万円増
R6. 4月料金改定
(R6. 6月徴収分～)

資本的収支

支出は前年度比 19百万円の増
収入は前年度比 20百万円の増

支出
187百万円

収入
79百万円

建設費 47百万円	補助金(基準内繰入金) 80万円
借金の返済 140百万円	補助金(基準外繰入金) 78百万円
	不足額 △108百万円

農業集落排水事業は、大平地域・藤岡地域
西方地域の一部地域に公共下水道と
同様に汚水进行处理するために整備
されたもの

